

# 自治基本条例に係る高校生ワークショップ (小諸商業高校)

## 1 高校生ワークショップの概要

- (1) 日 時 1日目 平成25年10月1日16時～17時  
2日目 平成25年10月8日16時～17時
- (2) 場 所 小諸商業高校会議室
- (3) 内 容 1日目 自治基本条例の概要の説明  
2日目に実施するワークショップ等について  
2日目 市民協働の体験(ワークショップ)  
・臨時図書館が移転したらどう使う?(高齢者福祉施設を市の仮定の計画として提案)  
模擬住民投票  
・市が提案した高齢者福祉施設計画の賛否について模擬投票  
住民投票について意見交換
- (4) 参加者 高校生 生徒会役員の皆さん 38名  
討議員 大林討議員、上滝討議員、高木討議員、高橋討議員  
事務局 清水企画課長、土屋企画課主幹、  
中島まちづくり推進係長、渡辺まちづくり推進係主任、  
佐藤まちづくり推進係主事  
大池子ども育成課長(ファシリテーター)

## 2 高校生から出された意見

- (1) 市民協働体験での意見(ワークショップ:臨時図書館が移転したらどう使う?)
- 1グループ
- ・買い物ができるところ
  - ・自由に勉強ができるところ
  - ・図書館等で貸し出しているDVDなどを視聴できるところ
  - ・フットサル等のスポーツができるところ
- 2グループ
- ・ストリートバスケット場、スケートボード場、フットサル場、高齢者福祉施設等
  - ・勉強ができる施設(自習ができて、参考書が充実していて、パソコンも使えて、WiFi環境も整っている完璧な施設。しかも、そこはで

は若い人と高齢者の交流ができる施設)

- 3グループ
- ・カラオケ
  - ・公園
  - ・グループとしては、高齢者福祉施設に反対。高齢者だけではなく、若者向け、学生向けの施設を作ってほしい。
- 4グループ
- ・市の意見には反対。
  - ・高齢者福祉施設も良いと思うが、もっとまちを活性化させることをしたら良いと考えた。
  - ・お店、例えば、長野市にしか Round1 のような施設がないのでそういうものを作ったり、まちを活性化させることをしていって良いと思う。

## (2) 住民投票についての意見

- 1グループ
- 住民投票の権利を高校生が持っているということについては、大人だけの意見ではなくて、いろいろな人の意見を吸い上げることができるので良いことだと思う。
- 2グループ
- 自分たちの意見が反映されるものであれば、自分たちで関心を持って投票できるし、自分たちに関係がある問題であれば学生であっても判断できると思う。
- いろいろな選挙で若い世代の投票率が低いので、もっとPRをしていくべきではないかと思う。住民投票にも同じことが言えると思う。
- 3グループ
- 自分の意見が言えて、反映できる方が良い。
- 4グループ
- 今回のような機会があってはじめて住民投票の有権者が16歳以上であるということを知った。もっと制度のPRをしていく必要があると思う。できれば16歳になったとき全員にこのような経験をしてもらえば良いと思う。
- ワークショップは、高校生だけではなくて、いろんな世代の方が、一堂に会して意見を出し合うことが必要ではないかと思う。そのために、多くの人たちにワークショップが行われることを知らせる必要があるのではないかと思う。